に之を選択の動機とする行為さえ生れるのである。

斯様な観方はマイルスの云うように、最近米国の社会事業の対象が余りに個人的になつて家族、近隣、社会が忘れられ、雇用、保険、其の他の経済的措置が過少評価され、ケース・ワークは精神分析のみの偏つた接近で行われ、その缺点に社会科学的、文化的知識の劣弱が挙げられているのと方向を一にするのではあるまいか。(A. P. Miles—American Social Work Theory, 1954)

トロント、ニユー・ヨークだより

社会福祉学科講師
早　崎　八　洲

六月十九日土曜日の晩、雨の降るなかを羽田から飛んで、ウエイク、ホノルル、桑港、シカゴを通つて廿一日午後カナダのトロント市に来ました。わたしたちのウイメンズもいいですが(いくらおくれてもしかられないので)、トロント大学のキャムパスはまつたくリフレッシングで、私のうちの芝生より広くて、私はとことたのまれたらアゲアシトロヂーかサイエンス・オヴ・アゲアシトリーの講座を開とうかと思つた位です。芝生にボプラとメイプルが大きく生えて、黒いリスがチョロチョロかけ廻つて、人の足もとに来て立ちあがつて前脚でおがむようにする有様には、まつたくトロントしました。世界で動物を見るといじめるのは、日本人とスペイン人の子供だと思うのですがどうです。

『アミアンの野に春ふたたびめぐり来て
ひばりうたい、ひなぎくの花ひらくとき
我れ等の友はさむることなくして
ことにねむる　(トロント大学校庭の戦
歿学友のエピタフより)

第七回国際社会事業会議は大学構内で開かれました。協議題は「セルフ・ヘルプ」、公用語は英、仏、四十八カ国から二千五百人の社会事業家が出席、うち三分の二が婦人でした。二十四、五、六が常任委員会、廿七日から七月二日迄が大会、大会は五つの総会と四つのパネルと廿の研究部会とからなつていました。私は第二パネルのディスカッション・メンバーで、他のメンバーはアメリカのミス・ホーイ、ドクター・クラインバーグ、ドイツのエヴアンヂェリカル・チャーチのプッファート師で、「私としては以て瞑すべし」でした。議長はインドのミスター・ディという人で、英語とインド語は確かに私よりたつしやでした。

三日とのアメリカン・インディアンの種族ヒューロンの言葉で、「集会場」を意味するトロントをあとにして、三十年振りでニユー・ヨークに来ました。黒人人口の殖えたこと、一流ホテルのうちでも私のうちのフアンより古い電扇をつかつているものがあるのには一寸考えさせられました。無駄な程とんでもなく高い家や、要するに見せ物以外何物でもないビルディングを見たり、人殺しの新聞を読んだりしました。バーカだの、時計や安全カミソリ等は日本にもあるので買いません。ホールド・アップにも会いませんから御安心を、皆さんよく勉強していますか。(七・四)